
令和2年度社会福祉法人高取町社会福祉協議会
第2号議案 事業報告について

令和2年度事業報告

1. 会務の運営

(1) 第1回理事会

- 期 日 令和2年6月4日
場 所 書面議決
議 事 ①令和元年度第2次補正予算
②令和元年度事業報告
③令和元年度一般会計決算報告
④事務所移転に伴う定款変更
⑤評議員会への提案

(2) 第1回評議員会

- 期 日 令和2年6月15日
場 所 書面議決
議 事 ①令和元年度第2次補正予算
②令和元年度事業報告
③令和元年度一般会計決算報告
④事務所移転に伴う定款変更

(3) 第2回理事会

- 期 日 令和2年7月27日
場 所 書面議決
議 事 ①事務所移転に伴う定款変更の取り消し
②評議員会への提案

(4) 第2回評議員会

- 期 日 令和2年8月3日
場 所 書面議決
議 事 ①事務所移転に伴う定款変更の取り消し

(5) 第3回理事会

- 期 日 令和3年3月17日
場 所 高取町役場2階集会室A
議 事 ①令和2年度一般会計補正予算
②令和3年度事業計画
③経理規程の変更
④令和3年度一般会計予算
⑤定時評議員会の招集

(6) 第3回評議員会

- 期 日 令和3年3月26日
場 所 高取町役場2階集会室A
議 事 ①令和2年度一般会計補正予算
②令和3年度事業計画
③経理規程の変更
④令和3年度一般会計予算

2. 地域福祉活動事業

(1) 福祉の理解の広がり と 住民参加の促進

① ボランティアセンター事業

○ 高齢者等日常生活用具・レクリエーション用品貸出

(貸与品)	車イス	貸与延べ台数	35台
	レクリエーション用品	貸与回数	0回
	輪転機	使用回数	26回

○ ボランティアルーム無料貸し出し

(利用回数) 101回

(内 容) ボランティア活動拠点、子どもの居場所(ぐらんぷあみゆ)、
相談室、会議室

(2) 住民の支え合い活動(居場所づくり)の推進

① ふれあいサロン支援事業(共同募金配分金事業)

対象サロン1件

(年間合計 20 回開催)

《ボランティアルーム》

◎十数人程度の会議スペース

◎Webカメラ付きのパソコン設置

◎輪投げやダーツなどのレクリエーションが出来る

② 地域をつなぐ交流の場づくり事業(共同募金配分金事業)

対象大字1件(年間合計3回開催)



① 令和2年8月：花火大会 参加人数36名

② 令和3年1月：とんど送り火・餅焼き会

参加人数40名

③ 令和3年2月：見守り会 参加人数65名

《大字主体の世代間交流！》

今年度は各大字での行事が中止となったなかで、藤井大字は子どもをキーとした住民同士の交流の場づくりを展開した。コロナ禍であるからこそ人と人とのつながりを大切にしたい取り組み内容であった。

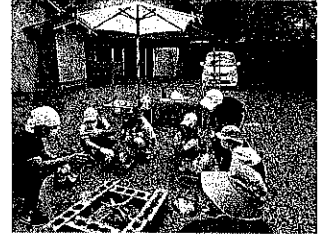
③奈良県子どもの「心と学び」サポート事業

- ・夏休み子どもの心のサポート事業 (奈良県委託事業)

実施回数 4回

参加延べ人数 45人

協働者 一般社団法人なら人材育成協会、農ある高取推進協議会、
民生主任児童委員



- ・テイクアウト弁当の提供

実施回数 12回

利用延べ人数 1331人 (jCoin基金助成金事業)

協働者 一般社団法人なら人材育成協会、ふれあい加工部、町内飲食店
6店舗、社会福祉法人雅乃郷、社会福祉法人たかとりワークス、
就労支援事業所ぽーれ

《子育て応援！新たなつながり！地域力が強化！》

新型コロナウイルスの影響で今までとは異なった学校生活や日常生活となり、子どもたちや保護者の精神的な不安が増大しているなか、地域一体で子育てを応援しようと町内の事業所で「高取町子育て応援団」を結成し、協働事業を実施した。

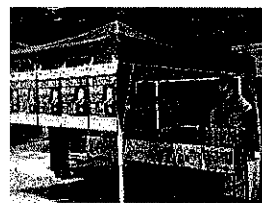
④高取町社会福祉法人共同事業

ふれあい食堂

実施回数 4回

参加延べ人数 110人

共同事業所 社会福祉法人雅乃郷
社会福祉法人たかとりワークス



《ネットワーク力強化！つながり強化！》

町内の3つの社会福祉法人（雅乃郷、たかとりワークス、社協）が協働し、地域住民とともに交流や活動出来る場づくりをしながら、地域の高齢者が活躍できるよう、また暮らしにくさをかかえている人に対するの相談が出来るよう居場所づくりを実施した。今年度は、開催頻度は減ったが地域課題に向き合いながら会議を重ねることで、ネットワーク力が強化された。

(3) 住民支えあい活動（見守り）の推進

①高取町防犯ボランティア連絡協議会活動に対する協力

○青色防犯パトロール

- ・通常パトロール（夏休み・年末夜間パトロール含む）

毎週2回（月曜・金曜日） 活動人数 42名

- ・夜間専属パトロール

毎週1回（金曜日） 活動人数 10名

- ・早朝パトロール
毎週 3 回（月曜・水曜・金曜日） 活動人数 2 名
- ・2・3区重点パトロール
毎週 1 回（金曜日） 活動人数 1 名

○子ども見守り隊（6大字で実施）

○総会及び講演会の実施

開催日 令和2年6月 書面議決

○防犯みまもメール配信

登録者数 251名

配信回数 1回



②在宅ひとり暮らし高齢者や生活困窮者への事業（共同募金配分金事業）

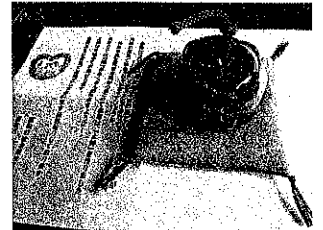
○ひとり暮らし高齢者への給食サービス事業

実施回数及び配食数 12回 749食

○ひとり暮らし高齢者訪問事業

・手作り品贈呈 対象者数 263人

・カレンダー配布 対象者数 263人



○ひとり暮らし高齢者・生活困窮者への給食サービス事業

実施回数及び配食数 6回 404食

（jCoin基金
助成金事業）



《見守りの強化！介護予防・就労支援！》

コロナ禍において、高齢者の意欲の低下・孤独感の高まりを軽減するために地域から孤立しないよう、つながりを絶やさないように見守り活動の推進を行った。今年度は、民生児童委員と新たに地域の住民、社会福祉法人、就労支援事業所と協働で見守り活動及び困りごとの聞き取りを実施した。定期的な訪問で、認知症状などの変化を発見し、包括や民生委員、ケアマネ等と連携し見守りを強化することが出来た。また、引きこもり等の気になる方に対しても家族や親戚を交えたケース会議を開催することが出来た。

お弁当づくりには、地域のボランティア団体が参加。訪問には就労支援事業所が参加することで働く場づくり・生きがいつくりへと展開した。

（4）住民支えあい活動（生活支援）の推進

①訪問理美容サービス（共同募金配分金事業）

利用者数 11名

平均年齢 88歳

協力店舗 10店舗

②歳末買い物送迎サービス（共同募金配分金事業）

利用者数	4名
平均年齢	81歳
協力者数	11名
協力事業所	3事業所

③年末大掃除お助け隊（共同募金配分金事業）

利用者数	33名
平均年齢	83歳
協力者数	12名
協力事業所	5事業所



《新たな担い手発掘！》

住民（特に高齢者や障がいをお持ちの方）の日常生活のちょっとした困りごとを解決するために、サービスを利用したいという住民とサービスを提供したいという住民（事業所）がお互いに助け合う事業を実施した。サービスの提供は、有償ボランティアとして住民だけでなく町内の店舗、福祉事業所等の新たな担い手が増え、幅広く実施が出来た。サービス時の気になる情報や相談はしっかり受け止め、関係機関へと繋ぐようにし、地域とのつながりづくり、暮らしやすいまちづくりへと展開した。

(5) 子育て支援事業の推進

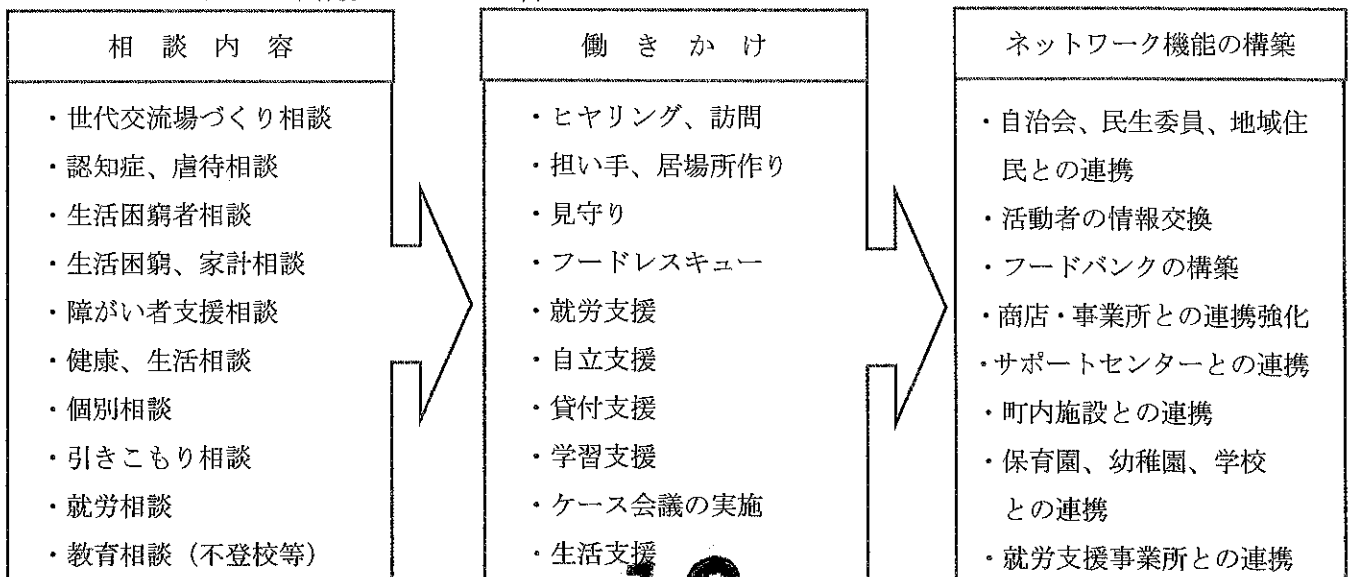
①クリスマスプレゼント事業（共同募金配分金事業）

高取幼稚園・育成幼稚園・たかとり保育園 （飛沫防止パーテーション、大玉、おもちゃ、図書等）	143名
母子・父子家庭（図書カード）	43名

(6) 総合相談の強化

①地域力強化推進事業

新規相談件数	99件	（39件は継続支援対応）
ケース会議	24件	



②生活困窮者支援の強化

《特例貸付（コロナ関係）》

・緊急小口貸付	33件
・総合支援貸付	23件
・総合支援延長貸付	11件
・総合支援再貸付	5件

《生活福祉資金》

・教育支援資金貸付	1件
-----------	----

③心配ごと相談所運営事業

開催回数	10回
相談件数	0件
相談員数	30名

《断らない相談支援！！

伴走型個別支援！！》

個々のケースに寄り添い「つながる」「つなげる」ことを目的に支援を実施した。

(7) 複合的な課題に対するサポート事業

①ぐらんふぁみ～ゆ（学習支援）

実施回数	31回
------	-----

②フードレスキュー（食の支援）

支援ケース	1回
-------	----

③フードバンク事業（食の支援）

受け取り件数	5件
--------	----

《ぐらんふぁみ～ゆ》

◎町内の不登校児・不登校気味の子どもたちに対し学習支援を実施。小中学校の先生方や引きこもり支援事業所と常に連携を図り情報共有に努めている。



④食品・生活物資の提供（jCoin基金助成金事業）

実施回数	7回
利用者数	115名

《食品・生活物資の提供》

◎困りごとの相談のきっかけとなった。

◎継続的な相談支援が必要な人は5名。

⑤日常生活自立支援事業（奈良県委託事業）

相談件数	3件（認知症1件、知的障害2件）
------	------------------

3. 共同募金の運営協力

○赤い羽根募金（10月）実績額

一般募金	902,915円
法人募金	288,000円

○歳末たすけあい募金運動（12月）

実績額	751,681円
-----	----------



4. 善意銀行の運営協力

善意の金品預託強化を図るための趣旨普及及び事業活動

(1) 受託件数	0件	0円
----------	----	----

(2) 配分件数 0件 0円

5. 広報活動

(1) たかとり社協だより第23号発行(令和3年3月)
発行部数 3,000部

(2) 高取町社会福祉協議会ホームページの運営
HPアドレス <http://www.takatori-shakyo.jp/>

Twitter https://twitter.com/takatori_shakyo

6. 介護保険事業

(1) 居宅介護支援事業

ケアプラン作成件数 530件 月平均 44件

(2) 訪問介護事業

利用者実人数及び延べ人数 実人数 284人 月平均 24人
延べ人数 3,101人

7. 介護予防日常生活支援総合事業

(1) 第1号訪問事業

利用者実人数及び延べ人数 実人数 148人 月平均 12人
延べ人数 867人

8. 受託事業

(1) 介護保険要介護認定訪問調査(町委託事業)

調査件数 (他市町村) 1件

9. 障害福祉サービス事業(障害者総合支援法に基づく)

(1) 居宅介護事業(ホームヘルプサービス)

利用者実人数及び延べ人数 実人数 32人 月平均 3人
延べ人数 544人

10. 移動支援事業(障害者総合支援法に基づく)

(1) 移動支援サービス(社会参加のための外出付添)

利用者実人数及び延べ人数 実人数 12人 月平均 1人
延べ人数 14人

11. 生活支援体制整備事業(町委託事業)

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で金銭的・精神的・体力的など様々な

面から今までの暮らしぶりが変わってしまった住民だけでなく、そうなりつつある方々に対してもアプローチが出来るよう、フレイル予防やコロナ禍での孤立を防ぐ工夫をしながら取り組んだ。

《主な取り組み内容》

- ① 協議体運営：令和2年5月、8月、令和3年3月に文書にて会議を開催
内容：新型コロナウイルスによる生活のアンケート実施
お買い物ツアー（小規模）の実施
- ② ニーズ調査：アンケートから見えたことは、新型コロナウイルスの影響で生活に変化が出たという人は6割。そのうち「ストレスが溜まる」「体調が悪くなった」が2割と高く、ひとり暮らしの高齢者や友人との付き合いが少ない人は、家にこもりがちとなり活動量が減り心身機能低下の促進が懸念される。また、買い物に困っている人が6割。お買い物ツアーが必要と感じている人は9割であった。今までの生活より不自由に感じている現状を確認した。困りごととしては、「病気・健康」が3割。「布団が干せない」「移動手段がない」と日常生活に関することや「収入が減った」「仕事がない」「ひきこもり」など困窮的な内容もあった。
- ③ ニーズに対しての生活支援の整備、個別支援や助け合い・支え合い活動の推進：アンケートの実施や直接お話を聞かせていただくことにより、地域に存在する「困りごと」の把握を行い、これを地域資源に結びつけたり、新たな資源開発を行った。それと同時に、元気な高齢者に担い手となっていただき、生きがいつくりや健康づくりとつながった。また、地域の事業所やボランティア団体などと協働することで、新たな就労の場だけではなく地域とのつながりづくりが行えた。また、ひきこもり、生活困窮者など継続的なかわりが必要な方に対しては伴走型の支援を実施した。

1. 《お買い物ツアー 少人数対応》

(実施期間) 令和2年10月～令和3年3月

(実施回数) 12回

(利用者数) 57人

(平均年齢) 81歳

新型コロナ感染拡大防止のため、集団ではなく少人数にて買い物支援を実施した。